

厚生労働行政推進調査事業費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
分担研究報告書

診療ガイドラインの担う新たな役割とその展望に関する研究

分担研究者 国立成育医療研究センター政策研究科学部 森臨太郎

研究要旨

本研究は、診療ガイドラインの担う新たな役割を果たすために、医療技術評価との連携の可能性を検討することを目的としている。今年度は日本医療機能評価機構と連携して、診療ガイドラインに関わる専門家、コクラン日本支部の関係者や医療技術評価に関わる専門家が集まり、ワークショップを開催した。我が国における最適な連携のあり方について議論した。

A. 研究目的

我が国において、診療ガイドラインが導入され15年以上が立ち、年々その質が向上してきた。今後の課題として、医療経済分析、患者一般参画、質的研究法をその作成にどのように取り組むかが挙げられている。一方、厚生労働省中央社会保険医療協議会を舞台に、その意思決定に医療技術評価を含めていく議論がなされており、医療技術評価や費用対効果分析に対する関心も高まっている。診療ガイドラインにおいても、医療技術評価においても、系統的レビューにおいても、その手法の基盤を共有することもあり、英国NICEをはじめ、多くの国では診療ガイドラインと医療技術評価、またコクランをはじめ系統的レビューの専門家グループが様々な形の連携をとっている。我が国においては、診療ガイドラインが政策の意思決定の中で利用されるというよりは学会主導の立場をとることもあり、こういったそれぞれの国の制度において最適な連携のあり方を模索する必要がある。したがって、本研究の目的は、医療技術評価との連携の可能性を検討することである。

B. 研究方法

本研究は今年度、日本医療機能評価機構と連携して、国内の最初のシンポジウムを企画し、診療ガイドラインに関わる専門家、コクラン日本支部の専門家、医療技術評価の専門家が共同に発起した。国内の関係者を幅広く集めて、我が国における最適な連携のあり方について議論した。

（倫理面への配慮）

該当なし

C. 研究結果

平成28年12月18日（日）に日本医療機能評価機構において、下記のように、国内最初の医療技術評価と診療ガイドラインの連携に関するワークショップを開催した。

挨拶 山口直人（日本医療機能評価機構）
趣旨説明 森臨太郎（成育医療センター）
話題提供

我が国における診療ガイドライン作成の今後の課題 山口直人（日本医療機能評価機構）

- 我が国における医療技術評価の位置づけ 福田敬（国立保健医療科学院）

- 医療技術評価および費用対効果分析の実施方法 池田俊也（保健医療福祉大学）
- 医療技術評価と診療ガイドラインの連携モデル 森臨太郎（成育医療センター）

指定発言

- 診療ガイドラインとDecision Science について 鎌江伊三夫（東京大学）
- 効果判定の方法について 福岡敏雄（倉敷中央病院）

討議とまとめ

ファシリテーター：森臨太郎（成育医療センター）

診療ガイドラインと医療技術評価の連携に向けて、各分野の関係者は今後、定期的にシンポジウムの開催など、診療ガイドラインと臨床・政策の意思決定において、綿密に情報交換をし、体制の形成に向けて準備することに合意した。

D. 健康危険情報

該当なし

E. 研究発表

蓋若琰、森臨太郎．診療ガイドラインにおける医療経済評価の活用．治療（南山堂出版）．2016；98(4)：537-45．

F. 知的財産権の出願・登録状況

該当なし

医療技術評価と診療ガイドラインの連携に関するワークショップ

共同発起人・鎌江伊三夫、池田俊也、山口直人、福田敬、森臨太郎

我が国において、診療ガイドラインが導入され15年以上が立ち、年々その質が向上してきた。今後の課題として、医療経済分析、患者一般参画、質的研究法をその作成にどのように取り組むかが挙げられている。一方、厚生労働省中央社会保険医療協議会を舞台に、その意思決定に医療技術評価を含めていく議論がなされており、医療技術評価や費用対効果分析に対する関心も高まっている。診療ガイドラインにおいても、医療技術評価においても、系統的レビューにおいても、その手法の基盤を共有することもあり、英国 NICEをはじめ、多くの国では診療ガイドラインと医療技術評価、またコクランをはじめ系統的レビューの専門家グループが様々な形の連携をとっている。我が国においては、診療ガイドラインが政策の意思決定の中で利用されるというよりは学会主導の立場をとることもあり、こういったそれぞれの国の制度において最適な連携のあり方を模索する必要がある。そこで、本ワークショップにおいて、診療ガイドラインにかかわる専門家や医療技術評価にかかわる専門家が集まり、我が国における最適な連携のあり方について検討する。

日時と場所

平成28年12月18日(日曜日)午前11時から午後3時まで
日本医療機能評価機構9階ホール

プログラム

挨拶 山口直人(日本医療機能評価機構)
趣旨説明 森臨太郎(成育医療センター)
話題提供(午前11時20分より各20-30分ほど)
我が国における診療ガイドライン作成の今後の課題 山口直人(日本医療機能評価機構)
我が国における医療技術評価の位置づけ 福田敬(国立保健医療科学院)
医療技術評価および費用対効果分析の実施方法 池田俊也(保健医療福祉大学)
医療技術評価と診療ガイドラインの連携モデル 森臨太郎(成育医療センター)
指定発言(午後2時より、各10-15分ほど)
診療ガイドラインと Decision Science について 鎌江伊三夫(東京大学)
効果判定の方法について 福岡敏雄(倉敷中央病院)
討議とまとめ
ファシリテーター: 森臨太郎(成育医療センター)